



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成19年1月31日

上場会社名 西日本旅客鉄道株式会社

上場取引所：東 大 名 福

コード番号 9021

本社所在都道府県

大阪府

(URL <http://www.westjr.co.jp>)

TEL(06)6375-8889

代表者 代表取締役社長 山崎正夫

問合せ先責任者 広報部長 宇都宮道夫

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無	:	無
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無	:	無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無	:	有
連結(新規) 0社 (除外) 2社		

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日~平成18年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	941,268	1.6	118,129	5.7	91,778	6.1	49,677	1.2
18年3月期第3四半期	926,264	1.7	125,257	12.3	97,726	20.3	50,256	12.2
(参考)18年3月期	1,240,098		135,218		102,181		46,525	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	24,849.58	-
18年3月期第3四半期	25,139.15	-
(参考)18年3月期	23,281.96	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	2,348,129	630,345	25.6	300,532.00
18年3月期第3四半期	2,362,585	566,867	24.0	283,559.44
(参考)18年3月期	2,355,969	564,254	23.9	282,245.00

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	118,182	79,322	41,063	53,230
18年3月期第3四半期	124,039	63,126	38,299	85,131
(参考)18年3月期	164,080	101,765	69,397	55,433

【参考】

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	1,255,400	95,400	51,300	25,668.34

平成19年3月期の個別業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	861,000	71,000	41,000	20,500.00

本資料における上記の予想を含む見通しの記述は、発表日現在に入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績・結果は予想数値あるいは見通しと異なる場合があります。

なお、上記業績予想は平成18年10月31日発表の通期業績予想から変更しておりません。

[添付資料]

(1) 経営成績及び財政状態

当社は、平成 17 年 4 月 25 日、福知山線塚口・尼崎間において、106 名のお客様の尊い命を奪い、500 名を超えるお客様を負傷させるという、極めて重大な事故を惹き起こしました。

ここに改めましてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様には衷心よりお詫び申し上げます。また、お怪我をされた皆様には深くお詫び申し上げますとともに、一日も早いご快癒をお祈り申し上げます。

お客様や株主の皆様並びに地元にお住まいの方々に対しまして、多大なるご心労、ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

当社は、現在、「安全性向上計画」を着実に推進するとともに、新しい「企業理念」、「安全憲章」のもと、グループ中期経営目標に、「『安全を最優先する企業風土』の構築」を掲げ、安心して信頼いただける鉄道づくりに全力を挙げて取り組み、お客様や社会からの信頼回復に努めてまいっている所存です。

1. 経営成績

(1) 当第 3 四半期の概況

平成 18 年度第 3 四半期の連結経営成績は、次のとおりです。

売上高	9,412 億円
営業利益	1,181 億円
経常利益	917 億円
四半期純利益	496 億円

これをセグメント別に示すと次のとおりとなります。

< 運輸業 >

鉄道事業においては、安全を最優先する企業風土の構築に向け、「安全性向上計画」に掲げた諸施策に集中的に取り組んできました。具体的には、役員等と現場社員が直接意見交換する場である「安全ミーティング」を引き続き開催し、安全最優先の意識の醸成に努めるとともに、現場から報告のあった「事故の芽」や「気がかり事象」についてその内容の分析等を進めたほか、平成 18 年 6 月には安全関連の投資に係る権限の見直しを行いました。さらに、平成 18 年 10 月には、鉄道事業法改正に伴い、「鉄道安全管理規程」を制定し、輸送の安全を確保するための基本的な方針や事業運営の体制並びにその実施方法等を定めるなど、安全マネジメント態勢の確立に努めてまいりました。また、平成 18 年 11 月の「新幹線列車事故対応総合訓練」の実施をはじめ、お客様の救護・案内誘導、情報伝達における初動やマニュアル類の検証、対応能力の向上及び警察、消防などの関係機関との連携の強化を図りました。

設備面では、平成 18 年 3 月に整備が完了した曲線部に続いて分岐器等における速度超過防止を図るための A T S の整備をはじめ、踏切設備の保安度向上や高架橋柱の耐震補強工事、乗務員教育用シミュレータの充実、駅・運転区所におけるコンピュータ支援教育 (C A I) の拡充などに取り組みました。

また、社外有識者からなる「安全諮問委員会」からの提言を踏まえ、安全に係わる研究等に専任で取り組む「安全研究所」を設置するなど必要な対応を行いました。

次に、輸送面については、在来線では、「安全性向上計画」に基づき実施した平成 18 年 3 月ダイヤ改正における運行状況の検証を行い、必要なダイヤの見直しを行うなど、安全安定輸送の提供に努めました。平成 18 年 10 月には、北陸線長浜～敦賀駅間、湖西線永原～近江塩津駅間直流化工事の完成により、新快速の敦賀延長運転などのダイヤ改正を実施しました。一方、山陽新幹線では、平成 18 年 3 月のダイヤ改正で博多、広島から東京へ直通運転する「のぞみ」を増発したこと等によりお客様のご利用が順調に推移していることを受け、臨時列車を増発し、さらなる利便性の向上に努めました。

営業面については、新幹線の列車本数、所要時間、価格等の基本情報や、平成 18 年 7 月に東海道・山陽新幹線全線に拡大した「エクスプレス予約」の利便性について積極的に情報発信しご利用促進に努めるとともに、「エクスプレス予約」サービスの前提となる「J-WE STカード」会員の拡大に取り組みました。

また、地域や旅行会社、JR 他社との連携により、「DISCOVER WEST キャンペーン」や「九州デスティネーションキャンペーン」等のキャンペーンを展開したほか、50 歳以上の方を対象とした旅クラブ「Club DISCOVER WEST」を新たに立ち上げ、旅行需要の誘発に取り組みました。

お客様に対するサービス面については、「みどりの券売機」の増備やエレベーター、エスカレーター等のバリアフリー設備の整備を行い、ご利用いただきやすい鉄道づくりに取り組みました。また、AED（自動体外式除細動器）を主要駅に順次設置するとともに、駅社員を中心として救命講習の受講を推進しました。

地球環境問題については、国際規格 ISO14001 に準拠した環境管理の仕組みをグループ会社も含めて展開するとともに、車両の省エネルギー化や使用済み資材のリサイクルを進めるなど、引き続き環境負荷の低減に努めました。

バス事業については、高速バス分野での競争激化が続くなか、大阪・東京間に超大型バス「青春メガドリーム号」を運行するなど、収益の確保に努めました。

この結果、運輸業の営業収益は前年同期比 1.0% 増の 6,483 億円、営業利益は前年同期比 8.8% 減の 909 億円となりました。

< 流通業 >

平成 14 年度に策定した駅力向上のための「Next Station Plan（ネクステーションプラン）」を引き続き推進し、駅構内での流通業の拡充を図りました。また、「ジェイアール京都伊勢丹」では、季節に応じた売場のリフレッシュや売れ筋商品のさらなる充実を図るなど、収益の拡大に向けて取り組みました。

この結果、流通業の営業収益は前年同期比 2.8% 増の 1,861 億円、営業利益は前年同期比 2.5% 減の 48 億円となりました。

< 不動産業 >

岡山駅 2 階にショッピングセンター「サステーションテラス岡山」を、金沢駅東口に商業ビル「金沢フォーラス」をそれぞれ開業したほか、社宅跡地等におけるマンション分譲など、駅構内及び周辺用地の開発を推進しました。また、大阪駅改良・新北ビル開発計画については、計画の着実な推進に努めました。

この結果、不動産業の営業収益は前年同期比 4.4%増の 561 億円、営業利益は前年同期比 5.1%増の 163 億円となりました。

<その他事業>

旅行業については、組織的な団体セールスの推進やターゲットを明確にした店頭営業の実施など、積極的な営業活動の展開に努めました。また、ホテル業については、宴会場のリニューアルや料飲部門等における各種イベントの実施など、販売促進に取り組みました。

この結果、その他事業全体の営業収益は前年同期比 7.4%増の 1,947 億円、営業利益は前年同期比 18.1%増の 52 億円となりました。

(2) 通期の見通し

平成 18 年度の連結業績予想については、現時点における当期連結業績が計画に対して想定範囲内で推移していることから、平成 18 年 10 月 31 日に開示した内容を変更しておりません。

なお、個別業績予想についても同様であります。

2. 財政状態

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

法人税等の支払額が増加したことなどから、営業活動によって得た資金は前年同期に比べ 58 億円少ない 1,181 億円となりました。

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

設備投資にかかる支出が増加したことなどから、投資活動によって支出した資金は前年同期に比べ 161 億円多い 793 億円となりました。

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期債務を 296 億円返済したことや配当金の支払いなどにより、財務活動によって支出した資金は前年同期に比べ 27 億円多い 410 億円となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ 22 億円減の 532 億円となりました。

(2) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期連結会計期間末 (平成18年12月31日現在)	前連結会計年度末 (平成18年3月31日現在)	増 減	前第3四半期連結会計期間末 (平成17年12月31日現在)
(資産の部)				
I 流動資産	210,969	207,859	3,110	241,179
1. 現金及び預金	53,460	56,093	2,633	97,291
2. 未収金	42,512	47,328	4,816	36,674
3. 繰延税金資産	10,392	19,426	9,033	11,492
4. その他の流動資産	104,604	85,010	19,594	95,721
固定資産	2,137,075	2,148,067	10,992	2,121,364
A. 有形固定資産等	1,955,426	1,973,172	17,746	1,954,621
B. 投資その他の資産	181,649	174,894	6,754	166,743
1. 投資有価証券	65,035	65,027	8	62,579
2. 繰延税金資産	95,087	88,022	7,064	83,644
3. その他	21,526	21,844	317	20,519
繰延資産	84	42	42	40
資産合計	2,348,129	2,355,969	7,839	2,362,585

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期連結会計期間末 (平成18年12月31日現在)	前連結会計年度末 (平成18年3月31日現在)	増 減	前第3四半期連結会計期間末 (平成17年12月31日現在)
(負債の部)				
I 流動負債	482,599	541,148	58,548	503,136
1. 1年以内に返済する長期借入金等	94,531	125,074	30,543	108,271
2. 未払金	56,322	105,110	48,788	49,175
3. その他の流動負債	331,745	310,962	20,783	345,690
固定負債	1,235,184	1,222,797	12,387	1,265,774
1. 社債・長期借入金等	900,774	899,869	904	947,521
2. 退職給付引当金	216,857	201,677	15,180	207,393
3. その他の固定負債	117,552	121,250	3,697	110,860
負債計	1,717,784	1,763,945	46,161	1,768,911
(少数株主持分)				
少数株主持分		27,769		26,805
(資本の部)				
資本金		100,000		100,000
資本剰余金		55,000		55,000
利益剰余金		398,910		402,640
その他有価証券評価差額金		10,670		9,554
自己株式		327		327
資本計		564,254		566,867
負債、少数株主持分及び資本合計		2,355,969		2,362,585
(純資産の部)				
株主資本	591,217			
1. 資本金	100,000			
2. 資本剰余金	55,000			
3. 利益剰余金	436,544			
4. 自己株式	327			
評価・換算差額等	9,580			
1. その他有価証券評価差額金	9,359			
2. 繰延ヘッジ損益	221			
少数株主持分	29,547			
純資産計	630,345			
負債純資産合計	2,348,129			

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期連結会計期間	前第3四半期連結会計期間	増 減	前連結会計年度
	平成18年4月1日から 平成18年12月31日まで	平成17年4月1日から 平成17年12月31日まで		平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
営 業 収 益	941,268	926,264	15,004	1,240,098
営 業 費	823,139	801,006	22,132	1,104,880
営 業 利 益	118,129	125,257	7,128	135,218
営 業 外 収 益	2,549	2,968	418	7,466
営 業 外 費 用	28,900	30,499	1,598	40,503
経 常 利 益	91,778	97,726	5,947	102,181
特 別 利 益	18,071	36,895	18,824	78,594
特 別 損 失	23,037	48,720	25,682	100,880
税金等調整前四半期(当期)純利益	86,811	85,901	910	79,896
法 人 税 等	35,326	34,208	1,118	30,974
少 数 株 主 利 益	1,807	1,437	370	2,396
四 半 期 (当 期) 純 利 益	49,677	50,256	578	46,525

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(4) 連結株主資本等変動計算書

当第3四半期連結会計期間(自平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			少 数 株 主 持 分	純 資 産 計 合
	資本金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 合 計 資 本	其 他 有 価 値 評 価 差 額 金	繰 上 償 減	評 価 ・ 換 算 差 額 等 計		
平成18年3月31日残高	100,000	55,000	398,910	327	553,583	10,670	-	10,670	27,769	592,023
第3四半期中の変動										
剰余金の配当			12,000		12,000					12,000
四半期純利益			49,677		49,677					49,677
連結子会社の合併に伴う減少			43		43					43
株主資本以外の項目の第3四半期中の変動額(純額)						1,311	221	1,090	1,778	687
第3四半期中の変動額合計			37,634		37,634	1,311	221	1,090	1,778	38,321
平成18年12月31日残高	100,000	55,000	436,544	327	591,217	9,359	221	9,580	29,547	630,345

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	当第3四半期連結会計期間	前第3四半期連結会計期間	増 減	前連結会計年度
	平成18年4月1日から 平成18年12月31日まで	平成17年4月1日から 平成17年12月31日まで		平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	118,182	124,039	5,857	164,080
投資活動によるキャッシュ・フロー	79,322	63,126	16,196	101,765
1. 固定資産の取得による支出	108,197	92,609	15,587	156,155
2. その他	28,874	29,482	608	54,389
財務活動によるキャッシュ・フロー	41,063	38,299	2,764	69,397
1. 長期債務の増減額	29,639	25,875	3,763	57,109
2. その他	11,424	12,423	998	12,288
現金及び現金同等物の増減	2,203	22,614	24,817	7,083
現金及び現金同等物の期首残高	55,433	62,241	6,807	62,241
新規連結等に伴う現金及び現金同等物の増減額	-	275	275	275
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	53,230	85,131	31,901	55,433

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(6)セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(平成17年4月1日~平成17年12月31日)

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
営業収益	641,743	181,052	53,803	181,364	1,057,963	(131,699)	926,264
営業費用	541,977	176,071	38,244	176,933	933,227	(132,220)	801,006
営業利益	99,766	4,981	15,558	4,430	124,736	520	125,257

当第3四半期連結会計期間(平成18年4月1日~平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
営業収益	648,340	186,142	56,162	194,701	1,085,347	(144,078)	941,268
営業費用	557,348	181,286	39,812	189,469	967,917	(144,777)	823,139
営業利益	90,991	4,856	16,350	5,231	117,429	699	118,129

前連結会計年度(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他事業	計	消去又は 全社	連結
営業収益	850,846	244,474	75,702	280,238	1,451,261	(211,162)	1,240,098
営業費用	752,835	238,517	55,201	268,778	1,315,332	(210,452)	1,104,880
営業利益	98,010	5,957	20,501	11,459	135,928	(710)	135,218

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成 18 年度 第 3 四半期決算について

平成 19 年 1 月 31 日
西日本旅客鉄道株式会社

【連結決算】

1. 経営成績 連結参考資料 連 1 参照 (単位：億円、%)

	18 年度 第 3 四半期	17 年度 第 3 四半期	増減	前年比	記 事
営 業 収 益	9,412	9,262	150	101.6	3 期連続の増収
営 業 費 用	8,231	8,010	221	102.8	
営 業 利 益	1,181	1,252	71	94.3	四半期開示以来初の減益
経 常 利 益	917	977	59	93.9	四半期開示以来初の減益
特 別 損 益	49	118	68		
四 半 期 純 利 益	496	502	5	98.8	2 期連続の減益

- ・ 営業収益は、当社、子会社ともに増収。
- ・ 営業利益、経常利益、四半期純利益は減益（増収減益）。
- ・ 連結子会社数 67 社、持分法適用会社 4 社。

- (1) **営業収益** 9,412 億円 (対前年 +150 億円 101.6%)
 ・ 当社は、運輸収入の増等により 70 億円の増収。
 ・ 子会社は、物販飲食業、旅行業、百貨店業、不動産業等の増収により、79 億円の増収。
- (2) **営業費用** 8,231 億円 (対前年 +221 億円 102.8%)
 ・ 当社は、人件費の減などがあったものの、修繕費、業務費の増等により、152 億円の増加。
 ・ 子会社は、売上原価等の増により、68 億円の増加。
- (3) **営業利益** 1,181 億円 (対前年 71 億円 94.3%)
 ・ 当社は、営業収益の増加を上回る営業費用の増により、82 億円の減益。
 ・ 子会社は、百貨店業、旅行業等の増により、11 億円の増益。
- (4) **経常利益** 917 億円 (対前年 59 億円 93.9%)
 ・ 支払利息減等により営業外損益が改善。
- (5) **特別損益** 49 億円 (対前年 +68 億円)
- (6) **四半期純利益** 496 億円 (対前年 5 億円 98.8%)

2. セグメント情報 連結参考資料 連1参照 (単位：億円、%)

(1) 運輸業 (当社、西日本ｼﾞｪｱｰﾙﾊﾞｽ(株)、中国ｼﾞｪｱｰﾙﾊﾞｽ(株)、嵯峨野観光鉄道(株))

	18年度 第3四半期	17年度 第3四半期	増減	前年比	記 事
営 業 収 益	6,483	6,417	65	101.0	運輸収入の増
営 業 利 益	909	997	87	91.2	当社の物件費増等

(2) 流通業 (株)ｼﾞｪｱｰﾙ西日本ﾃﾞｰﾘｰ-ｻｰﾋﾞｽﾈｯﾄ、(株)ｼﾞｪｱｰﾙ西日本伊勢丹 他8社)

	18年度 第3四半期	17年度 第3四半期	増減	前年比	記 事
営 業 収 益	1,861	1,810	50	102.8	物販飲食業、百貨店業増
営 業 利 益	48	49	1	97.5	

(3) 不動産業 (大阪ﾀｰﾐﾅﾙﾋﾞﾙ(株)、京都駅ﾋﾞﾙ開発(株)、ｼﾞｪｱｰﾙ西日本不動産開発(株) 他18社)

	18年度 第3四半期	17年度 第3四半期	増減	前年比	記 事
営 業 収 益	561	538	23	104.4	ｼｮｯﾍﾟﾝｸﾞ ﾙﾝﾀﾞｰ-事業増
営 業 利 益	163	155	7	105.1	

(4) その他事業 (株)ｼﾞｪｱｰﾙ西日本ﾋﾞﾙ開発、(株)日本旅行、(株)ｼﾞｪｱｰﾙ西日本ﾃｸﾉｽ 他30社)

	18年度 第3四半期	17年度 第3四半期	増減	前年比	記 事
営 業 収 益	1,947	1,813	133	107.4	旅行業、工事業増
営 業 利 益	52	44	8	118.1	

3. 財政状態 連結参考資料 連2参照 (単位：億円)

		18年度 第3四半期末	17年度 期 末	増減	記 事	
資産の部	流動資産	2,109	2,078	31	棚卸資産 159 繰延税金資産 90	
	固定資産	21,370	21,480	109	有形固定資産等 98	
	計	23,481	23,559	78		
負債 純 資産 の 部	負債 の 部	流動負債	4,825	5,411	585	未払金 487
		固定負債	12,351	12,227	123	
		計	17,177	17,639	461	
	(再掲：長期債務)		(9,953)	(10,249)	(296)	当社 29、子会社 267
	少数株主持分		-	277	277	
	純資産の部		6,303	5,642	660	四半期純利益 496
(再掲：少数株主持分)		(295)	-	(295)		
合 計		23,481	23,559	78		

4. キャッシュ・フローの状況 連結参考資料 連3参照 (単位：億円)

	18年度 第3四半期	17年度 第3四半期	増減	記 事
営 業 活 動	1,181	1,240	58	
投 資 活 動	793	631	161	設備投資増
ﾌﾘｰ・ｷｯｼﾞｬｰ・ﾌﾞﾛｰ	388	609	220	
財 務 活 動	410	382	27	長期借入金等返済
現金及び現金同等物の増減	22	226	248	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増	-	2	2	
現金及び現金同等物の期末残高	532	851	319	

【単体決算】

1. 経営成績 単体参考資料 単1及び単1-2参照

(単位:億円、%)

	18年度 第3四半期	17年度 第3四半期	増減	前年比	記 事
営業収益	6,485	6,414	70	101.1	3期連続の増収
営業費用	5,489	5,336	152	102.9	
営業利益	995	1,078	82	92.4	四半期開示以来初の減益
経常利益	736	805	68	91.5	四半期開示以来初の減益
特別損益	41	111	70		
四半期純利益	414	420	5	98.7	2期連続の減益

- ・営業収益は増収、営業利益、経常利益、四半期純利益は減益（増収減益）
- ・運輸収入では、定期外収入は+40億円、定期収入は+17億円といずれも増収。
- ・営業費用は、修繕費、業務費など物件費の増等により前年を上回った。

(1) 営業収益 6,485億円 (対前年 +70億円 101.1%)

運輸収入 5,790億円 (対前年 +58億円 101.0%)

鉄道旅客運輸収入の内訳

(単位:億円、%)

	18年度 第3四半期	17年度 第3四半期	増減	前年比	記 事	
新 幹 線	2,500	2,467	33	101.3	3期連続の増収	
在 来 線	京阪神	2,281	2,245	36	101.6	開示以来初の増収
	その他	1,005	1,016	10	98.9	3期連続の減収
	計	3,287	3,262	25	100.8	開示以来初の増収
鉄道旅客運輸収入	5,787	5,729	58	101.0	3期連続の増収	

- ・17年度に開催された愛知万博の反動があるものの、ゴールデンウィークのご利用が好調であったことや、ダイヤ改正による利便性の向上などにより、新幹線において33億円の増収。
- ・17年度の福知山線列車事故の影響などにより、在来線京阪神が36億円の増収。

その他の収入 694億円 (対前年 +12億円 101.8%)

- ・大阪駅改良等による関連事業収入の減があるものの、会社間清算収入の増などにより前年を上回った。

(2) 営業費用 5,489億円 (対前年 +152億円 102.9%)

- ・社員数減による人件費の減があったものの、安全性向上のための取り組み等による修繕費、業務費の増等により、152億円の増加。

(3) 営業利益 995億円 (対前年 82億円 92.4%)

- ・営業収益の増加を上回る営業費用の増により、82億円の減益。

(4) 経常利益 736億円 (対前年 68億円 91.5%)

- ・支払利息の減など、営業外費用が11億円減少したことなどにより営業外損益が改善。

(5) 特別損益 41億円 (対前年 +70億円)

- ・前年度に環境安全対策引当金を計上したことなどにより損失が減少。

(6) 四半期純利益 414億円 (対前年 5億円 98.7%)

- ・2期連続の増収減益。

2. 財政状態

単体参考資料 単2 参照

(単位：億円)

		18年度 第3四半期末	17年度 期 末	増減	記 事	
資産の部	流動資産	1,195	1,314	118	現預金 24 繰延税金資産 76	
	固定資産	19,740	19,707	32	鉄道事業等固定資産 119 長期貸付金 197、出資株式 18 繰延税金資産 69	
	計	20,936	21,021	85		
負債 純資産の部	負債の部	流動負債	4,495	5,136	641	未払金 628、前受金 258 短期借入金 71
		固定負債	11,135	10,862	272	社債・長期借入金等 143 退職給付引当金 150
	計	15,630	15,999	368		
	(再掲：長期債務)	(9,582)	(9,611)	(29)		
	純資産の部	5,305	5,022	283	四半期純利益 414	
合 計		20,936	21,021	85		

3. 設備投資

(単位：億円、%)

	18年度 第3四半期	17年度 第3四半期	増 減	前年比
設 備 投 資	680	621	59	109.5
自 己 資 金	495	467	28	106.0
負 担 金	184	153	30	120.1

損益計算書（連結）

（単位：億円、％）

科 目	平成18年度 第3四半期	平成17年度 第3四半期	対 前 年		備 考
			増 減	比 率	
営 業 収 益	< 1.45 > 9,412	< 1.44 > 9,262	150	101.6	当 社 運輸収入増 子会社 物販飲食業、旅行業、百貨店業増
営 業 費 用	8,231	8,010	221	102.8	当 社 人件費減、物件費増 子会社 売上原価等増
営 業 利 益	1,181	1,252	71	94.3	
営 業 外 損 益	263	275	11	95.7	当 社 支払利息減
営 業 外 収 益	25	29	4		子会社 持分法投資利益の減
営 業 外 費 用	289	304	15		
経 常 利 益	917	977	59	93.9	
特 別 損 益	49	118	68		
特 別 利 益	180	368	188		
特 別 損 失	230	487	256		
税引前四半期純利益	868	859	9	101.1	
法 人 税 等	353	342	11		
少 数 株 主 利 益	18	14	3		
四 半 期 純 利 益	< 1.20 > 496	< 1.20 > 502	5	98.8	

（注）< > は連単倍率を示しております。

セグメント別実績

（単位：億円、％）

項 目	平成18年度 第3四半期	平成17年度 第3四半期	対 前 年		備 考	
			増 減	比 率		
運 輸 業	営業収益	6,483	6,417	65	101.0	・ 鉄道事業 運輸収入増
	営業利益	909	997	87	91.2	
流 通 業	営業収益	1,861	1,810	50	102.8	・ 物販飲食業、百貨店業増
	営業利益	48	49	1	97.5	
不 動 産 業	営業収益	561	538	23	104.4	・ ショッピングセンター事業増
	営業利益	163	155	7	105.1	
そ の 他 業	営業収益	1,947	1,813	133	107.4	・ 旅行業、工事業増
	営業利益	52	44	8	118.1	

貸借対照表（連結）

(単位:億円)

科 目	平成 18 年度 第 3 四半期末	平成 17 年度 期 末	増 減	備 考	
資 産 の 部	流 動 資 産	2,109	2,078	31	現金及び預金 26 棚卸資産 159 繰延税金資産 90
	固 定 資 産	21,370	21,480	109	
	有 形 固 定 資 産 等	19,039	19,137	98	
	建 設 仮 勘 定	515	594	79	
	投 資 そ の 他 の 資 産	1,816	1,748	67	繰延税金資産 70
	合 計	23,481	23,559	78	

資 産 増 減				
	期 首	増 加	減 少	期 末
当 社	16,681	773	893	16,562
子会社	2,455	183	162	2,477
合 計	19,137	957	1,055	19,039

科 目	平成 18 年度 第 3 四半期末	平成 17 年度 期 末	増 減	備 考	
負 債 ・ 純 資 産 の 部	流 動 負 債	4,825	5,411	585	
	1 年 以 内 長 期 借 入 金 等	945	1,250	305	
	未 払 金 等	3,880	4,160	280	未 払 金 487 前 受 金 271
	固 定 負 債	12,351	12,227	123	
	社 債 ・ 長 期 借 入 金 等	9,007	8,998	9	
	退 職 給 付 引 当 金 等	2,168	2,016	151	
預 り 保 証 金 等	1,175	1,212	36		
負 債 計	17,177	17,639	461		
少 数 株 主 持 分	-	277	277		
株 主 資 本	5,912	5,535	376		
資 本 金	1,000	1,000	-		
資 本 剰 余 金	550	550	-	資 本 準 備 金	
利 益 剰 余 金	4,365	3,989	376	〔 配 当 金 120 四 半 期 純 利 益 496	
自 己 株 式	3	3	-		
評 価 ・ 換 算 差 額 等	95	106	10		
少 数 株 主 持 分	295	-	295		
純 資 産 計	6,303	5,642	660		
合 計	23,481	23,559	78		

キャッシュ・フロー計算書 (連 結)

(単位：億円)

項 目		平成18年度 第 3 四半期	平成17年度 第 3 四半期	増 減	備 考 【18年度の主な内訳】
営 業 活 動	税金等調整前四半期純利益	868	859	9	
	減 価 償 却 費	831	824	6	
	工事負担金等圧縮損	155	334	179	
	退職給付引当金の増減額	151	74	77	
	賞与引当金の増減額	173	182	9	
	工事負担金等受入額	157	335	177	
	法人税等支払額	552	461	90	
	そ の 他	58	128	69	
計 (A)	1,181	1,240	58		
投 資 活 動	固定資産の取得による支出	1,081	926	155	
	工事負担金等受入額	304	312	7	
	そ の 他	16	17	1	
	計 (B)	793	631	161	
フリー・キャッシュ・フロー (C=A+B)		388	609	220	
財 務 活 動	長期債務の増減額	296	258	37	社債、長期借入金 長期借入金等返済
	長期債務の増加額	349	-	349	
	長期債務の減少額	646	258	387	
	短期借入金の増減額	21	33	12	
	配当金の支払額	117	127	10	
	そ の 他	17	30	12	
計 (D)	410	382	27		
現金及び現金同等物の増減 (E=C+D)		22	226	248	
現金及び現金同等物の期首残高 (F)		554	622	68	
新規連結等に伴う 現金及び現金同等物の増加額 (G)		-	2	2	
現金及び現金同等物の四半期末残高 (H=E+F+G)		532	851	319	

損益計算書(単体)

(単位：億円、%)

科 目	平成18年度 第3四半期	平成17年度 第3四半期	対 前 年		備 考
			増 減	比 率	
営業収益	6,485	6,414	70	101.1	
運輸収入	5,790	5,732	58	101.0	
運輸附帯収入	166	167	1	99.2	
関連事業収入	135	131	4	103.1	
その他収入	391	382	9	102.5	
営業費用	5,489	5,336	152	102.9	
人件費	2,052	2,084	31	98.5	社員数減
物件費	2,318	2,133	185	108.7	業務費・修繕費増
線路使用料等	185	185	0	99.9	
租税公課	242	251	8	96.6	固定資産税減
減価償却費	689	682	7	101.1	設備投資増
営業利益	995	1,078	82	92.4	
営業外損益	258	273	14	94.8	
営業外収益	17	15	2		
営業外費用	276	288	11		支払利息減
経常利益	736	805	68	91.5	
特別損益	41	111	70		
特別利益	171	354	183		工事負担金等受入額減 等
特別損失	212	466	254		工事負担金等圧縮損減、 前期・環境安全対策引当金繰入 等
税引前四半期純利益	695	693	2	100.4	
法人税等	280	272	7		
四半期純利益	414	420	5	98.7	

鉄道旅客輸送量・鉄道旅客運輸収入の対前年比較

(単位：百万人^{*}、億円)

項 目		輸 送 人 口				運 輸 収 入				
		平成18年度 第3四半期	平成17年度 第3四半期	対前年 増 減	対前年比 (%)	平成18年度 第3四半期	平成17年度 第3四半期	対前年 増 減	対前年比 (%)	
新幹線	定 期	493	480	12	102.6	62	60	1	102.5	
	定期外	11,048	10,877	170	101.6	2,438	2,406	31	101.3	
	合 計	11,542	11,358	183	101.6	2,500	2,467	33	101.3	
在来線	定 期	17,617	17,416	200	101.1	1,086	1,070	16	101.5	
	定期外	11,555	11,490	64	100.6	2,201	2,192	9	100.4	
	合 計	29,172	28,907	264	100.9	3,287	3,262	25	100.8	
在来線 内 訳	京阪神	定 期	14,204	13,966	238	101.7	876	859	16	102.0
		定期外	7,650	7,516	134	101.8	1,405	1,385	19	101.4
		合 計	21,855	21,482	372	101.7	2,281	2,245	36	101.6
	その他	定 期	3,412	3,450	37	98.9	209	210	0	99.7
		定期外	3,904	3,974	69	98.2	796	806	10	98.7
		合 計	7,317	7,424	107	98.5	1,005	1,016	10	98.9
全社計	定 期	18,110	17,897	212	101.2	1,148	1,130	17	101.6	
	定期外	22,604	22,368	235	101.1	4,639	4,598	40	100.9	
	合 計	40,714	40,266	448	101.1	5,787	5,729	58	101.0	

貸借対照表(単体)

(単位：億円)

	科 目	平成18年度 第3四半期末	平成17年度 期 末	増 減	備 考
資 産 の 部	流 動 資 産	1,195	1,314	118	現金及び預金 24 繰延税金資産 76
	固 定 資 産	19,740	19,707	32	
	鉄道事業等固定資産	16,562	16,681	119	資 産 増 773 資 産 減 893 (うち減価償却費 689)
	建設仮勘定	481	578	96	
	投資その他の資産	2,696	2,447	248	長期貸付金 197 繰延税金資産 69 出資株式等 18
	合 計	20,936	21,021	85	

	科 目	平成18年度 第3四半期末	平成17年度 期 末	増 減	備 考
負 債 ・ 純 資 産 の 部	流 動 負 債	4,495	5,136	641	
	1年以内長期借入金等	798	972	173	
	未払金等	3,696	4,164	468	未払金 628 短期借入金 71 前受金 258
	固 定 負 債	11,135	10,862	272	
	社債・長期借入金等	8,783	8,639	143	長期債務残高
	退職給付引当金	1,980	1,829	150	18年度第3末… 9,582 17年度末 … 9,611
	その他の固定負債	371	393	22	29
	負 債 計	15,630	15,999	368	
	株 主 資 本	5,221	4,926	294	
	資本金	1,000	1,000	-	資本準備金
資本剰余金	550	550	-		
利益剰余金	3,671	3,376	294		
利益準備金	113	113	-		
その他利益剰余金	3,557	3,263	294		
固定資産圧縮積立金	121	89	31		
別途積立金	2,600	2,400	200		
繰越利益剰余金	836	773	62		
評価・換算差額等	84	95	11	その他有価証券評価差額金	
純 資 産 計	5,305	5,022	283		
合 計	20,936	21,021	85		